

研 究 分 野	普及・啓蒙	部 名	漁場環境部
研 究 課 題 名	試験船体験航海事業		
予 算 区 分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H.14 ～ H.18		
担 当	佐藤 晋一		
協 力 ・ 分 担 関 係	西海岸二町水産振興協議会		

〈目的〉

近年、小学生を対象に海洋や漁業に関する様々な体験学習を通して理解と興味を持たせ、科学する心を育み、また、将来の漁業及び関連産業の後継者育成と確保を図ることを目的として、試験船による体験航海の要望が増加してきている。

これらに対応するため、試験船東奥丸により体験航海を実施する。

〈事業の内容〉

- ・体験航海を行った試験船 東奥丸（140 トン）
- ・体験航海の回数 3 回

〈結果の概要・要約〉

1. 体験航海の実施日及び航海数

平成 18 年 8 月 2～4 日及び 8 月 19 日で、合計 4 日、3 航海を実施した（次ページの表参照）。

2. 体験航海の内容

体験航海、海洋観測・いか釣り見学、ロープワーク教室など

3. 体験航海の参加者数

小人 43 名、大人 18 名 計 61 名

4. その他

- ・8 月 2～4 日に鰺ヶ沢と北海道江差町間で行った体験航海では西海岸二町水産振興協議会で募集した児童が参加した。江差町では現地の「夏の冒険王クラブ」との交流会等を行った。また、体験活動では筏作りを行い、海水浴時に進水した。体験航海中はプランクトン採集、透明度観測、操舵体験などを行った。
- ・8 月 19 日に鰺ヶ沢地先で行った体験航海ではいか釣り操業の見学も行った。入出港時の乗船者の待機状況もよく、船員の指示も良く聞いていた。海上はややうねりがあったため、船酔いする児童もみられた。

〈今後の問題点〉

- ・本事業は今年度で終了となる。また、本事業で使用していた試験船東奥丸は今年度いっぱいでは廃船となることが決まっている。しかし、来年度も体験航海や漁業体験、海洋観測の見学などの要望がすでに寄せられている。

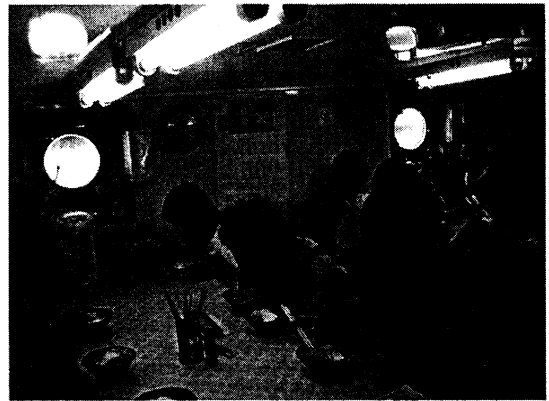
開運丸（208 トン）や青鵬丸（65 トン）では体験航海を実施した実績がなく、船舶検査証書の書き換えが可能かどうか未知の部分がある。これらの試験船による体験航海では、どの程度の人員まで受け入れが可能となるのか今後の課題となる。

体験航海の実施状況(平成18年度)

No.	1	2	3	合 計
団体名	西海岸二町水産振興協議会	西海小学校 自然塾	西海小学校 自然塾	
人数(小人)	17	12	14	43
人数(大人)	6	6	6	18
小 計	23	18	20	61
実施日	8月2日(水)08時45分から 4日(金)17時30分	8月19日(土) 09時00分～11時30分	8月19日(土) 13時00分～15時30分	
内容	体験航海、海洋観測見学、 ロープワーク教室、江差町こ どもクラブとの交流	体験航海・いか釣り見学	体験航海・いか釣り見学	
摘要	鰺ヶ沢港入出港、北海道江差 町に宿泊。江差町で地元の児 童団体との交流会も行われ た。	航海時間は1時間40分程度。 入出港時の乗船者の待機状 況もよく、船員の指示も良く きいていた。ややうねりがあり、 船酔いした子もいた。	航海時間は1時間45分程度。 入出港時の乗船者の待機状 況もよく、船員の指示も良く きいていた。	



船上でロープワーク教室



船内の食堂に集まって昼食



いか釣り操業を見学



釣れたスルメイカをさばく